

平成21年度 福井南養護学校 学校評価総合シート No.2

| 回答者 | 項目 | 重点目標 | 具体的取組 | 評価の観点・目標指数 | 判断基準 |
|------------------------|---------------------|---|--|--|---|
| 寄宿舎 指導員 | 生活の指導 一舎務部一 | 豊かに生活 する力を身 につけさせ る。 | 生活環境を工夫 して、子どもた ちの余暇の広が りを目指した活 動の内容や方法を 提供する。 | 余暇の広がりを目指した活動の内容や方法を子どもたちに提供することができたか。(取組指標) 【目標指数】 A+Bの合計が80%以上 余暇の時間のできることや好きなことが増えたか。(成果指標) 【目標指数】 Aが70%以上 | 余暇の広がりを目指した活動の内容や方法を A 十分に提供することができた。 B おおむね提供することができた。 C あまり提供することができなかった。 D 全く提供することができなかった。 余暇の時間のできることや好きなことが A 増えた。 B 洗濯、配膳、掃除、整理整頓、行事の実行委員、手伝い、遊び・趣味() C 増えなかった。 D 子どもの余暇の時間のできることや好きなことが A がなり増えた。 B おおむね増えた。 C あまり増えなかった。 D 全く増えなかった。 |
| 寄宿舎生 (回答できる 舎生) | | | | | |
| 寄宿舎生 の保護者 | | | | | |
| 小中高 教員 | 研究 一図書・ 一研究部一 | 自閉症の特 性に応じた 授業改善に 取り組む。 | グループ研究会 を、自閉症の特 性に応じた授業 作りに生かす。 | グループ研究会を通して自閉症の特性に応じた授業改善に取り組む。(取組指標) 【目標指数】 A+Bの合計が70%以上 グループ研究会を通して自閉症の特性に応じた授業改善に取り組む。(取組指標) 【目標指数】 A+Bの合計が80%以上 | グループ研究会を通して授業改善に取り組むことが A 十分にできた。 B おおむねできた。 C あまりできなかった。(理由があればお書きください。) D 全くできなかった。(理由があればお書きください。) |
| 小中高 教員 (労働員除く) | | | | | |
| 小中高 教員 (労働員除く) | 保健管理 一保健部一 | 個々の児童 生徒の実態 に合わせて、 校内の環境 美化化への 意識付けを 図り、高め たりする。 | 捨てやゴミ 分別の指導に 取り組むよう に、個に応じた 児童生徒への 支援を工夫す る。 | 児童生徒の実態に合わせた可能な範囲で、ゴミ捨てやゴミ分別を行うことができたか。(成果指標) 【目標指数】 A+Bの合計が80%以上 個々の児童生徒に合わせた可能な範囲で、ゴミ捨てやゴミ分別を行うことができたか。(成果指標) 【目標指数】 A+Bの合計が80%以上 | 児童生徒が、支援の工夫により、可能な範囲でゴミ捨てや分別を行うことが A 十分にできた。 B おおむねできた。 C あまりできなかった。 D 全くできなかった。 児童生徒が、支援の工夫により、可能な範囲でゴミ捨てや分別を行うことが A 十分にできた。 B おおむね支援することができた。 C あまり支援することができなかった。 D 全く支援することができなかった。 |
| 高等部 職業・作業1 ケルア生徒 | | | | | |